

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2025年度

卒業論文題目	指導教員
米軍駐留国における地位協定の比較研究 ―日本と韓国の司法主権を中心に―	平田 雅己
多文化共生社会における「やさしい日本語」の役割と可能性 ―名古屋市の実践と海外事例の比較を通して―	山本 明代
非西洋のアートとしてのメキシコ壁画運動 ―ポストコロニアリズムのモダニズム再考―	市川 哲
第二言語理解における事前知識の役割と言語能力測定の再検討 ―日本人・ドイツ人における正情報/誤情報設問の比較―	梶浦 眞由美
企業と生活者のコミュニケーションとしてのCSR広告 ―社会意識形成における現状と課題―	毛利 雅子
成熟としての自己理解 ―他者性から開かれる自己理解の可能性―	吉永 和加
単配列分類と多配列分類はいかに併存しうるか ～台湾原住民の語りから～	市川 哲
アイヌの交易網、交易品から見る先住民族の「非」未開性	市川 哲
ハラルコスメ市場の成長要因と課題 ―国際的な展望―	山本 明代
プラトンにおける「正義」	吉永 和加
真正性の構築の多様性 ～マレーシア・ペナン島ジョージタウンにおけるプラナカン文化表象の現場から～	市川 哲
詐欺師が叶えるアメリカン・ドリーム ―レオナルド・ディカプリオ主演映画3本の分析を中心に―	川本 徹
文化の翻訳と脱文脈化 ―ラストファアライの多様なグローバリゼーション・メカニズム―	市川 哲
性器信仰祭礼の観光化におけるホストの多義性 ―神奈川県川崎市かなまら祭を事例として―	市川 哲
多文化共生教育から見るイタリアの移民教育 ―外国籍生徒教育のガイドラインとトレント自治県におけるレゴラメントの分析から―	山本 明代
観光における労働と余暇の関係性の変容 ―ボランティア・ツーリズムでの活動や滞在を事例に―	市川 哲
「フォースのテーマ」は誰のテーマか スター・ウォーズにおけるライトモチーフの分析	川本 徹
在日フィリピン人母親と移民二世における困難の連鎖と共生の課題 ―名古屋市中区を事例として―	山本 明代
未だ変わらないアメリカ社会へ ―スピルバーグ版『ウエスト・サイド・ストーリー』を読む―	川本 徹
いかに生きるべきか ―キルケゴール・ニーチェ・アレントの理論からみる主体的な生の様相と実践、その意義について―	吉永 和加
制服とファッション ―日本の制服はどうあるべきか―	山田 敦
ディストピア映画が映す私たちの理想の世界 ～4つの作品の分析を通して～	川本 徹
繰り返される日常を超えて ―タイムループ映画のジャンル形成と展開―	川本 徹
ディズニープリンセス映画における「髪の毛」の象徴性	川本 徹
少女マンガにおける働く女性の表象 ―ドラマ化作品を通じた変遷の考察―	石川 優
真田家における東西分裂の研究 ―「犬伏の別れ」の有無―	川戸 貴史
英語音声リスニング中のシャドーイング実施・未実施の結果比較	梶浦 眞由美
一つのモノをめぐる多様化と消費文化 ―パイナップルケーキを事例として―	市川 哲
多様化する流行と変わらない就活服装	山田 敦
存在の暴力から不和の中の共生へ	吉永 和加
鎌倉武士の思想と八幡信仰	アンドレア カスティリオーニ
カスタマーハラスメントの文化的背景とその対策	山田 敦
移住者は「地域の人」なのか ―長崎県五島市の事例を通して―	市川 哲
少年マンガにおける悪役の立体化と役割の変化に関する考察 ―『週刊少年ジャンプ』のキャラクターを題材にして―	石川 優
義務教育における部活動の地域移行 ～理想的な部活動とは何か～	毛利 雅子
人形は誰のものか ―リカちゃん人形とバービー人形にみる日米の文化的差異―	川本 徹
宗教のパーソナライズ化：現代の多様な御朱印を事例として	市川 哲
職場における異世代協働の可能性 ～Z世代と保護者世代の意識調査の結果より～	毛利 雅子
音読と黙読の記憶定着への効果	梶浦 眞由美
「小説家になろう」における作品の創作構造 ―キャラクター図像と物語の分析を通じて―	石川 優
ハリリー・ポッターにおける実在する動物に関する考察 ―フクロウとヘビから見る魔法界―	川本 徹
身だしなみ規定が生徒に与える影響 ～自由と規制の境界線を探る～	毛利 雅子
近現代における都市祭礼の変容 ―岐阜まつりと道三まつりを事例として―	佐藤 美弥
#推ししか勝たん：SNSとともに進化するアイドル像とその言説	毛利 雅子
教育におけるジェンダー秩序の再生産 ―「隠れたカリキュラム」の視点から―	平田 雅己
明治時代の妖怪と文明開化の相互関係 ―明治時代の新聞を中心として―	アンドレア カスティリオーニ
共通語教育から見るカナダの多文化主義	山本 明代
戦争花嫁は偏見とどう向き合ったか ―彼女たちの語りから―	山本 明代
災因論から見る天理教 ―治病儀礼おさづけを参考として―	市川 哲
明治・大正のタピオカ受容	山田 敦
近現代日本における女性の化粧の変遷 ―主婦と働く女性の比較から―	佐藤 美弥
湾岸危機・湾岸戦争における日本政府の対応の再検討	平田 雅己
マンガの「顔」に見る絵柄の構造 ―ジャンル別マンガ雑誌の比較を通じて―	石川 優

卒業論文題目	指導教員
本当に「やさしい日本語」とは？ ～在留外国人に向けた生活情報発信の在り方～	毛利 雅子
英語発音練習におけるカタカナ表記の効果に関する実証的研究 ―高校生・大学生を対象とした比較分析―	梶浦 眞由美
お洗濯から見える社会 ～家事CMの表現変化と法制度から読み解く～	毛利 雅子
女性雑誌『VERY』に見る専業主婦像の変容	平田 雅己
芸術は本当に終焉したのか ―ヘーゲル美学とその再解釈をめぐって―	吉永 和加
三岐鉄道のバリアフリーへの道	山田 敦
ワーキングメモリ容量が未知および既知言語処理に及ぼす影響：意味付け人工言語と英語を用いたReading Span Testによる検証	梶浦 眞由美
ヒーローの文化比較 ～社会を反映する象徴的存在としてのヒーローとは～	毛利 雅子
有酸素運動が英単語記憶に及ぼす影響	梶浦 眞由美
映像翻訳による異文化コミュニケーション ―日本市場に適応した中国アニメ字幕版VS吹替え版からの分析―	毛利 雅子
外国籍児童における教育格差を無くす連携のあり方 ―シン学校プロジェクトの活用を通して―	山本 明代
日本政治におけるミソジニーの構造とその持続	平田 雅己
リアルタイム視覚フィードバック訓練と音声模倣訓練の英語母音発音の上達効果比較（日本人とドイツ人対象）	梶浦 眞由美
中間組織の企画する学習型観光としてのボランティアツーリズムの意義	山田 翔太
日本社会におけるイレスミの受容と拒否に関する考察	山本 明代
暗算課題における提示言語の違いが処理速度・正答率に及ぼす影響とワーキングメモリ容量・英語習熟度の関連：EFL 学習者を対象とした検討	梶浦 眞由美
プロパガンダアニメーション映画の日独比較	川本 徹
「人間の消滅」のその後 ―ニーチェとフーコーの思想の融合―	吉永 和加
中米関係における公共外交の摩擦と戦略的ナラティブ ―在米孔子学院の後退が示す構造的課題―	平田 雅己
北朝鮮・イラン核問題の変遷と核不拡散体制の課題	平田 雅己
熊野比丘尼と救済 ―中世日本の地獄と浄土―	アノドリア カスティリョーニ
山地を映す鏡としての観光 北タイにおけるエスニックツーリズムに反映される少数民族の多元的立場	市川 哲